

上智大学ヨーロッパ研究所主催ロシア演劇ドラマ・リーディング

# 『ゾーヤ・ペーリツのアパート』

開演:2022年2月24日14時30分

作:M·A·ブルガーコフ(秋月準也訳)

演出:西村洋一(日露演劇会議理事)

無料オンライン配信(要事前申込み、締切2/21)

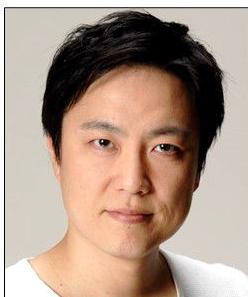
(<https://eipro.jp/sophia/events/view/EU20220224>)



中村 あさき  
フリー



上松 コナン  
暮らし



しおつかこうへい  
俳協



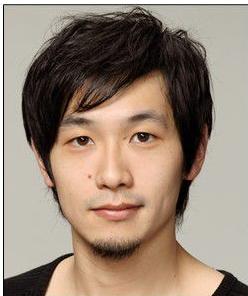
福井 夏紀  
劇団銅鑼



山岡 竜生  
フリー



深水 裕子  
劇団銅鑼



今井 聰  
フリー



遠藤 鮎喜  
劇団昴

このほか、別枠で上智大学の学生3名(石井千晶、山田美咲、若月花帆)が出演、終演後はアフタートークを予定(17時終了)

- 登壇者:村田真一(上智大学外国語学部教授)、演出家、出演者
- 司会:佐藤貴之(日露演劇会議事務局長)

ミハイル・アファナーシエヴィチ・ブルガーコフ(1891-1940)



ウクライナ生まれのロシア語作家。医師として革命後の内戦に従軍した後、モスクワに拠点を移し、創作活動を生涯続けた。モスクワ芸術座やワフタンゴフ劇場に戯曲を書き下ろし、革命後のソ連社会で劇作家としての成功をおさめたが、体制風刺の作風により冷遇。本作は劇作家としての出世作『トゥルビン家の日々』に続く2作目の戯曲。

革命後のモスクワ社会で自由を夢見た市民を描いた名作、モスクワ芸術座、エルミタージュ劇場上演作品(2016年小田島雄志・翻訳戯曲賞受賞作)

◆俳優、スタッフの募集◆  
日露演劇会議では日本で紹介されていない戯曲のドラマ・リーディング企画にご協力頂ける俳優を随時募集しています。また、国際演劇交流事業、研究・翻訳出版事業、俳優教育普及事業を進めており、団体の活動メンバーも募集中です。関心のある方は事務局までご連絡ください。

([office-nichiro@irtf.jp](mailto:office-nichiro@irtf.jp))



『ブルガーコフ戯曲集』(1・2)、『評伝・シェーフキン』、日露演劇交流報告書RUSSIAN REPORTを取り扱中。ご希望の方は日露演劇会議公式HPの申込ページからご連絡ください。

